

# 災害時におけるトイレの使用確認手順

戸建て  
住宅編

災害が発生すると、排水設備の損傷等により、トイレがいつも通りに使えないことがあります。地震災害をはじめとした災害時に備え、安心して利用するための手順を事前に確認しておきましょう。



## 0 災害発生・トイレの使用中止

災害が発生したら、自宅のトイレの使用を中止します。通常通り流すと、下水が逆流してくる可能性があるため、点検を行う必要があります。

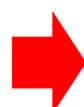
使用確認ができるまでは、**携帯トイレを使用！**



## 1 トイレに被害がないか確認

便器や配管に損傷があると、水があふれてくる、臭気がする等、緊急で対応が必要な場合があります。

- 便器本体が破損していないか？
- 便器に接続している配管が外れていないか？
- 水が減っていないか？



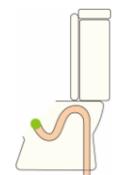
携帯トイレを使用

異常あり

### トイレの臭気対策



水が減って臭気がある場合は、水を補給してラップで密閉



配管がむき出しになっている場合は、袋にいれたタオルで配管をふさぐ

## 2 排水系統に被害がないか確認

排水系統に損傷がないか目視で確認します。  
…排水系統の仕組みと点検のポイントは裏面Aをチェック！

- 公共汚水ますやマンホールが損傷していないか？
- 自宅の敷地内の第一ますが損傷していないか？



携帯トイレを使用

異常あり

### 液状化等で損傷した場合



液状化等により、汚水ますやマンホールが浮き上がっている、傾いている等損傷している場合は、設備修理が終わるまで携帯トイレを使用する。



## 3 トイレに水を流して、正常に流れるか点検

トイレ本体や排水設備に損傷がなければ、水を流してみましょう。つまりの原因となるため、トイレットペーパーは流さないようにします。…詳しい点検方法は裏面Bをチェック！

断水している場合

断水していない場合

- バケツ洗浄をして、水があふれてこないか？
- 第一ますから水が流れているか？



異常なし

バケツ洗浄による  
使用が可能

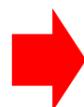
- 通常通り流して、水があふれてこないか？
- 第一ますから水が流れているか？



異常なし

通常使用が可能

水道の復旧



携帯トイレを使用

異常あり

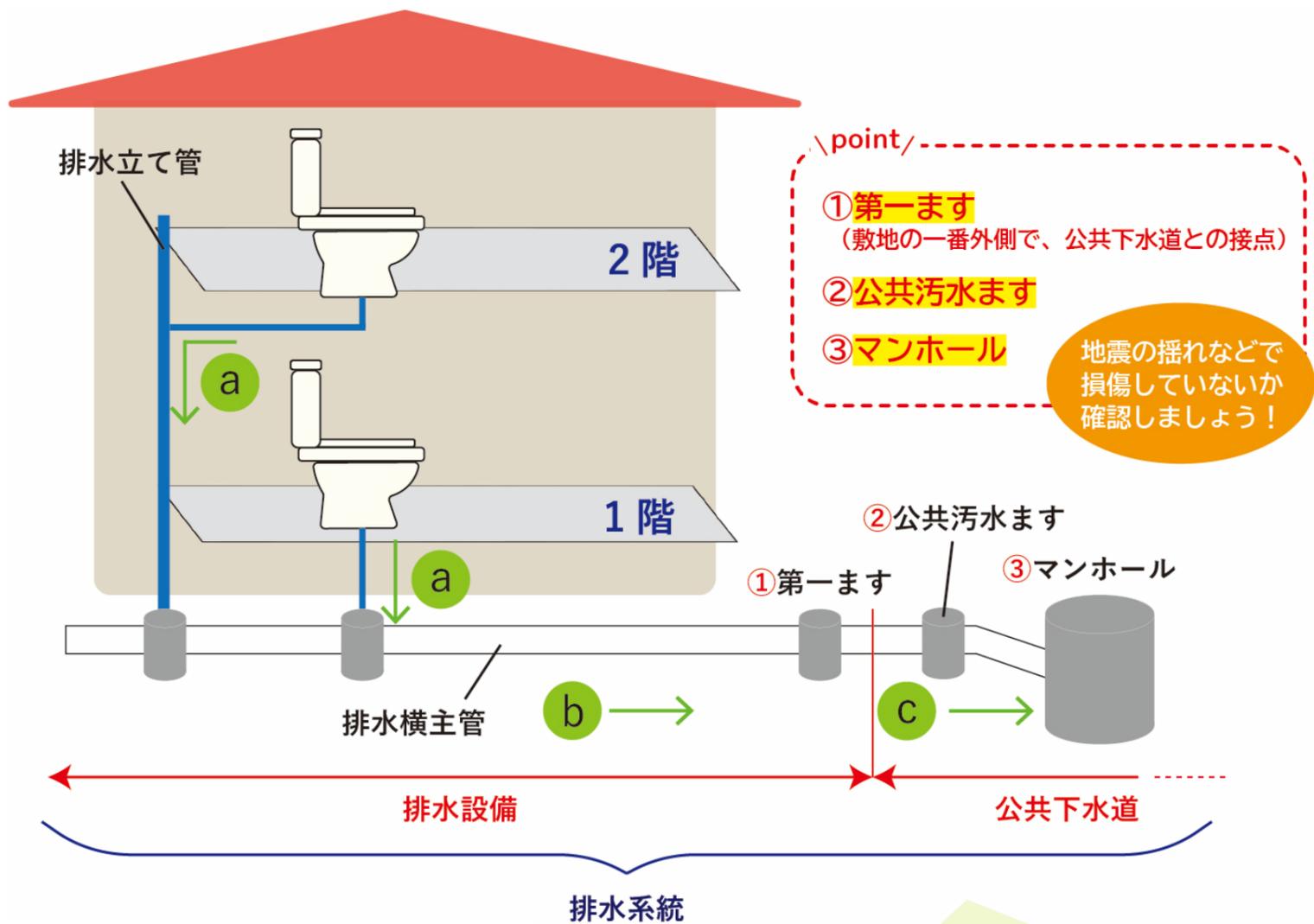
### 水があふれてきたときは…



逆流をふせぐため、ビニール袋に水を入れた「水のう」をつくり、便器に設置する。

# A 排水システムの仕組みと点検のポイント

トイレや洗面台等から出る生活排水は、建物の排水管（排水設備）を通して敷地外の公共下水道へ流れます。排水システムの途中で損傷がある場合、家のトイレが流れない場合があります。



# B 水が流れるか点検する方法

**!** トイレに損傷がないか確認してから点検を行うこと

## 1. トイレに水を流して、あふれてこないか確認

断水している場合は、バケツを使用して水を流します。

### 💡 バケツ洗浄の方法

- ①バケツ一杯程度（5～6L）を一気に流し込む
- ②におい防止のため3～4Lの水を貯める

※詰まりの原因となるため、トイレットペーパーは流さない（ゴミ箱を用意する）

※浴槽等に洗浄水を確保しておくことで、断水時のバケツ洗浄に活用できる

色水を流すと、水が流れているか分かりやすい！



## 2. 第一ますに水が流れているか確認

- ①マイナスドライバー等で、自宅の敷地内の第一ますを開ける
- ②トイレから水を流す（断水・停電時はバケツ洗浄）
- ③第一ますに水が流れているか確認（滞留している場合は、トイレの使用不可）



中の様子。



※なるべく複数人で点検する  
（水を流す人、流れているか確認する人で役割分担）

### <排水の流れ>

- a トイレを流す（2階の場合：排水立て管を通じて下の階へ流れる）
- b 排水横主管で建物全体の排水が合流し、第一ますに流れる
- c 敷地の外に出て、公共下水道へと流れる



公共汚水ます



液状化等で損傷したマンホール

### 事前に確認して、災害時に備えましょう！

戸建て住宅の場合、災害時には自分でトイレの使用確認をする必要があります。第一ますの場所、バケツ洗浄の方法等、平常時から備えをしておきましょう。また、携帯トイレの備蓄を1人あたり1日5回（目安）×3日分＝15回できれば7日分を用意しておくで安心です。